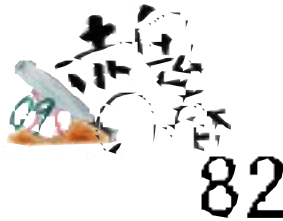


野球部報告会行われる

笑顔でお話をされる青木教頭先生。



報告会は青木靖夫教頭先生の挨拶で始まった。青木教頭先生は「春、選抜が終わって1週間が過ぎた。甲子園が鮮明に記憶に残っている。接戦



4月8日の始業式後に、野球部が選抜高校野球大会の報告会が行われた。報告会では、応援に対するお礼の言葉や応援団最優秀賞に選ばれたことを発表するなどが行われた。また野球部員による『僕らの光』の合唱も行われた。



速報新聞

キマグレ

発行所
彦根東高等学校

新聞部

彦根市金亀町4番7号

の引き締まった試合で、はつらつとしたプレーをする姿が印象的。堂々としたプレーを非常に誇らしく思った。全員で『彦根東』と大合唱したときの高揚感と幸福感が蘇ってきた。

応援団賞は期待していたが、まさか最優秀賞が貰えるとは思っていなかった。喜びが人一倍大きかった。誰もが思いを込めながら、それぞれの役割でベストを尽くした。団結力とチーム力を改めて実感した。支えてくださった方に改めて感謝申し上げます。この報告でた

『僕らの光』を歌う野球部部員たち。



くさんの元気を貰って新学期を始めてほしい」と話して下さった。

また、今井義尚先生は「応援団賞受賞おめでとう。今回の選抜に際して本当にみんなの力を貰った。東高が一つになった証が今回の賞に結びついた。赤の応援団の朗らかな笑顔に後押しされてプレーできました。甲子園はその場で最善を尽くすことを学ばせてくれた。夏に向けてみんなにとっての素晴らしい甲子園を目指していきたい。支えに気づき、感謝することが大切で、自分の力になる。日本一の応援の中でプレーできたことを誇りに思う。大きな応援ありがとうとございました」と話して下さった。

その後、新谷直弘主将から話があり、野球部部員による『僕らの光』の合唱が行われた。今井監督は「バスの中などで聞かせてもらっていた。感謝の気持ちを入れて歌いたい」とおっしゃった。



生徒に感謝を述べられる今井先生。

日本一の 応援に感謝